

会 議 録

1 会議名	平成20年度 第7回河内自治会議
2 開催日時	平成21年2月24日(火) 午後2時00分～午後2時50分
3 開催場所	河内地域自治センター 2階会議室
4 出席者	<p>【委員】 中村祐司(会長), 青木正子, 上山茂, 大田原加久司, 菊地久美子, 小嶋由美子, 五月女勝正, 五月女純, 對馬博幸, 手塚米子, 西岡隆義, 前野巖, 松谷悦広, 森本喜美子, 山下景二</p> <p>【事務局】 河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域経営課主幹, ほか7名</p>
5 公開・非公開	公 開
6 傍聴者数	【傍聴者】 1名
7 会議経過	(1) 開 会 (2) 協議事項 ・まちづくりに関する施策の提案について (3) その他 (4) 閉 会

1 開 会

事務局	<p>ただいまから平成20年度第7回宇都宮市河内自治会議を開会させていただきます。本日は、5人が欠席のため、出席は15人となっており、委員数の過半数に達していますことから、会議が成立することを報告します。</p> <p>それではこの後は、会長にごあいさつをいただき、その後、議題に沿って進行をお願いいたします。</p>
会 長	<p>皆さん、こんにちは。まさに1月に行く、2月は逃げるという言葉のとおり、気がついてみると、あと少しで2月も終わってしまうという時期になりました。非常に寒い日もありますが、春の予感も感じさせ、花のつぼみも花開こうとしているような日もあります。そのような中、我々も第7回会議でいよいよ提案の詰めの段階に入っています。今日は、提案につきまして、事務局から前回からの状況説明があると思いますが、ぜひ、内容を見ていただいて、皆さんからの意見をいただきたいと思っております。私としても幹の部分には堅持できたのではないかとと思っておりますが、活発な意見をいただいて、合意を得られればよいと思っています。どうぞよろしく申し上げます。</p>

2 協議事項

(1) まちづくりに関する施策の提案について

会 長	<p>それでは、進めていきたいと思います。</p> <p>自治会議としては、今回と次回で終わりということになります。ただ、施策の提案については、今日で議論をする最後の回となりますので、ぜひよろしくをお願いします。</p> <p>前は、事務局がそれぞれの部会から出されたものを加工して、提案書の素案を出していただき、皆さまの意見をいただきました。前は、文言や表現の若干の修正を加えるという、ほぼ最終案に手が届いたところですが、その後の調整の部分がありましたので、その内容について説明いただき、最終案の協議をして、提案書を完成させたいと思っています。</p> <p>それでは、資料について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、詳細の説明に入る前に、今回の案を示すにあたって、事務局で考えてきたことについてお話しいたします。</p> <p>今回皆さまが資料をご覧になると、アンダーラインを引いた訂正箇所が多いという印象を受けるかと思います。事案によってアンダーラインの数が違いますが、前回の皆さまにご意見いただいた箇所数から増えているという印象を受けることもあるかと思います。ただ、前回も少しお話ししました様に、この提案については、はっきりしたルールが決まっていなかったこともあって内容が変わることがありますと申し上げたかと思います。その後、担当課の考えも確認するなどの作業を進めた結果、このようなまとめ方をさせていただいたところでは、</p> <p>ただ、表現の仕方や前後を入れ替えたりなどしていますが、方向性や趣旨は変えていないと思っております。大きな変更としては、これまでの河内の取組みや特性を強調して入れ込んだり、市の現在の施策を入れ込んだりしてみました。それらを入れた部分が多いものと少ないものとでアンダーラインの数に差が出てきています。統一した考え方としては、河内の特性とか、これまでの取組みを入れ込んだほか、市の現在の施策事業を入れ込んだということで、それ以外は、表現を変えただけで、方向性や趣旨は皆さまの意向からそれていないと考えていますので、ご了解いただきたいと思います。</p> <p>それでは、詳細につきまして、担当からご説明申し上げますので、ご協議をよろしくをお願いします。</p> <p style="text-align: center;">(資料1の説明)</p>
会 長	<p>皆さん、いかがでしょうか。表現の通りを良くするための微修正がありました。また、「子ども」など、多少の文言の表記を宇都宮市の表記に合わせるということもありました。それから、前は想定していなかったような文言が出てくるので、この部分のご意見をいただきたいのですが、宇都宮市あつての河内地区、河内地区あつての宇都宮市ということで、河内地区と宇都宮市の現状に</p>

	<p>ついてははっきりと盛り込んで、両者の連結を明確に述べる工夫をしたのではないかと捉えています。皆さん、いかがでしょうか。</p> <p>我々は河内地区のことだけを考えるのではないというスタンスで進めてきたわけですが、先ほど申したように、河内地区から見た宇都宮市、また、宇都宮市から見た河内地区ということで、現状をはっきりさせるために表現を追加するなどについて、前回以降に調整がありましたが、幹のところは堅持できたのではないかと考えています。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>書き方について、最初にご説明いただきましたが、良く論点が整理されていますので、筋が通っていて、我々の意見が適切に表現されているのではないかと思います。</p> <p>実は、前回の会議が終わってから資料を読み直してみて、ここはどうかと思ったところがありました。具体的には、地域の文化財のところ「あまりにも市民に知られていない現状が浮かび上がってきました」という部分です。総論的にはそのとおりだと思ったのですが、この「市民」が宇都宮市全体を指すとするならば、河内地区のことを議論してきたのに、これで良いのかなと思っていました。これを今回は「地域住民に」と絞って表現していますので、これなら私たちが議論してきたことを適切に表現されたと思っています。このように大変具体的に、また私たちが是非にという部分について、現状を踏まえた表現がされていますので、事務局にご苦労をかけたと思います、感謝したいと思います。</p> <p>それから、私も勉強しなければならないと思うのですが、国際理解のところで、下線が引いてある「国際化推進計画に掲げる多文化共生推進社会の実現」という言葉に接したのは初めてでしたので、これからは、このような計画にも目を通していかなければならないと感じました。</p> <p>以上、感想と自分なりの疑問点について発言させていただきました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。他にご意見はいかがでしょう。</p>
委員	<p>全体的には、私はこれでよろしいと考えています。</p> <p>ただ、国際理解教育のところで、「河内地区では、合併前には、小学校6校、中学校3校に対して外国語指導助手2人を配置」、また、「毎年20人弱の中学生を海外派遣」の後の括弧内のことは河内地区のことではないと思います。河内地区だけで60人程の派遣ということではないでしょうから、これは、現在の宇都宮市では、これだけの数という意味だと思いますので、前にある河内地区ではという主語との関係から、括弧内のことが分かりにくいのではないかと思います。</p>
会長	<p>確かに括弧の中は宇都宮市のことですので、その旨を入れた方が良いかもしれません。宇都宮市は、と入れるということで直させていただきます。</p> <p>次の方どうぞ。</p>

委員	いまのところですが、読んでみると、括弧の中は無くてもよいのではないかと思います。いかがでしょうか。私は、無い方がスッキリすると感じます。
会長	ありがとうございます。今回の修正のポイントは、その部分にあって、河内の状況も宇都宮市の状況もできるだけ明示するスタンスになっています。ですから、括弧の中の記載は外せないと思っています。
委員	今までは、河内だけで毎年20人の海外派遣をしていましたが、現在は宇都宮市全体で60人ということになるのでしょうか。私は、ここに「現在、宇都宮市内では」という、市全体で60人だという表現をした方が良いと思います。以前は年間20人であったが、現在は全市で60人ということで、行く機会が少なくなっているということになるのでしょうか。
事務局	先ほど委員がご指摘したとおり、括弧内は現在の宇都宮市全体の数字です。あえて括弧の数字を載せたのは、以前の河内の方が人口の割合から言うと派遣数が多くなりますので、比較する意味を込めて載せてあります。仮に括弧内を無くしてしまうと、20人が多いのか少ないのか分かりませんので、「力を注いできました」ということは、こういう意味ですということで載せています。
委員	括弧の中は宇都宮市全体のことだと理解してよろしいのですね。そうであれば、「現在、市内全体では」という表現があった方が良いと思います。
会長	このところは、河内地区の良いところが際立っている表現になるのですね。この部分は「宇都宮市では」と加えますので、大丈夫です。ただ、その表現については、お任せいただきたいと思います。 他にいかがでしょうか。
委員	今回の文章は、非常に良いと思います。 我々が長く住んできた河内地区のことを我々もよく知っているつもりですので、その中で、河内地区の過去と現在の状態を比較するような形になっていて、非常に分かりやすくなったと思います。
会長	ありがとうございました。とにかく自治会議ができて2年になりますが、この提案は初めての試みになります。河内地区をより良くするという内に向けたベクトルと同時に、宇都宮市全体を見たうえでの外に向けたベクトルを提示していくということで、このような形になりました。 それでは、先ほどの括弧の中に「宇都宮市では」ということが分かるようにというご指摘がありました。その趣旨を明記するというので慎重に表現を検討しますので、提案6のこの部分につきましては、私がお預かりして、最終的な修正をして、提案を完成させたいと思います。この修正につきまして、私にご一任いただけませんか。

委員	(異議なしの声)
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それから、出来上がりました提案書をどのように提出するのかについては、決まっていますが、提出の仕方についても、答申書のとくと同様に私にお任せいただけませんか。</p>
委員	(異議なしの声)
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、提案書をまとめさせていただき、そして、市へ提出させていただきます。また、皆さんには、完成した提案書を後日お配りさせていただきます。本当にありがとうございました。</p>
委員	<p>ちょっと話しが戻ってしまって申し訳ありません。</p> <p>今回のまちづくりの提案では6項目出ていますが、今回のこれで全てではないと思ってよろしいのでしょうか。</p>
会長	はい。私もそのように受け止めています。
委員	<p>というのは、これは今まで検討してきた現時点でのものだと思いますので、これにもう少し、高齢化社会に関することなどが入ってきても良いのではないかと思います。これは、今後の課題になるのか、提案に追加していくのかどうかということについて、これからどうなるのかということを感じていました。</p>
会長	<p>手続き的なところは事務局と調整したいと思いますが、私の受け止め方としては、今回の6項目以外についても部会から出ていますので、これに関することやまったく違うことでも、また次の河内自治会議に引き継いでいただいて、議論して出していただくということになります。ですから、これが10年間続いていくこととなりますので、今回がスタートというか雛形になっていくと思います。先ほどご指摘があったとおり、皆さん次第で違う項目も提案していくこととなります。</p> <p>また、蛇足かもしれませんが、今後は上河内の動きも見ながら検討することもあるかもしれません。今回は、自分のところだけで精一杯でしたが、今後は協調するなどの課題もあるかもしれません。</p>
事務局	<p>今回の「はじめに」のところにも書いてあるのですが、「この検討は今後も引き続き行われていきますが、今回は2つの観点について提案する」ということで、今後も続きますということを申し上げます。</p> <p>また、今回は、生活環境部会からの提案が入っていませんので、今後引き続き検討されていくものと考えています。ただ、「提案にあたって」のページ下に</p>

	<p>提案のイメージ図を載せていますが、ある意味でこれは便宜上このような整理をしたということで、この大きな柱自体が良いのか、他にも柱が出てくるのかどうかも含めて今後検討していただくことになると思います。また、大きなビジョンのようなものを示しながら更に細かい検討を進めていくという手法もあると思います。提案のあり方も固まっていないという現状をご理解いただいて、これからもこの形式でずっと続いていくものでもないということも頭の隅に置いていただきたいと思いますと考えております。</p>
会 長	はい、ありがとうございました。

4 その他

会 長	それでは、その他になりますか、委員の皆さんから連絡事項などはありますか。
委 員	(発言なし)
会 長	それでは、事務局から連絡事項はありますか。
事務局	<p>次回の自治会議は、3月25日の午後2時から河内地域自治センターで開催しますので、よろしくお願いします。今日で提案の検討が終わりましたが、議会で来年度予算も固まってまいりますので、次回は合併市町村基本計画の12事業について来年度の予定や計画をご説明したいと思います。</p> <p>また、現在の委員さん方の最後の会議となりますので、2年間の活動のご感想やご意見をお聞きする時間を設けたいと思っています。会議の開催通知と一緒に用紙をお送りしますので、よろしくお願いします。</p>
会 長	<p>皆さまがお感じになった点を自由に書いていただき、皆さんと共有していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。</p> <p>今回の提案は、産みの苦しみもありましたが、協働の産物であったのではないかと思います。皆さまそれぞれが地域に根ざし、長年河内でご活躍いただいている方たちばかりですので、委員の中での協働もありましたし、それから、私も大学人として皆さまとの協働ということもあったと思います。また、事務局の方と我々との間にも様々なやりとりがありました。協働というのは当初ぶつかり合いもあって生まれるものですが、委員として建設的な協働もできました。また、宇都宮市全体の行政と河内地域の行政との間の協働というものも垣間見たと思っています。</p> <p>皆さん、本日は、どうもありがとうございました。お疲れさまでした。これで本日の会議を終了させていただきます。次回またよろしくお願いします。</p>